

令和5年度行田市学校給食センター運営委員会会議録

会議の名称	行田市学校給食センター運営委員会	
開催日時	令和6年1月24日（水） 開会：15時00分・閉会：16時00分	
開催場所	行田市立学校給食センター 2階会議室	
出席者	6名	
欠席者 （敬称略）	早瀬 英華、鈴木 勝幸	
事務局	小池学校教育部長、飯田所長、橋本	
会議内容	別紙のとおり	
会議資料	（資料名・概要等） 別紙のとおり	
その他必要 事項		
会議録の確定	確 定 年 月 日	主 宰 者 記 名
	令和6年 月 日	委員長

発言者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
飯田所長	<p>1. 開会</p> <p>本日は、お忙しい中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。これより、「令和5年度学校給食センター運営委員会」を始めさせていただきます。私は、本日の進行を務めます、行田市学校給食センター飯田と申します。よろしくお願いたします。</p> <p>それでは、皆様のお手元にございます次第に沿って進行させていただきます。はじめに、配布資料の確認をさせていただきます。</p> <p>①次第</p> <p>②委員名簿</p> <p>③資料1 令和6年度学校給食年間計画(案)</p> <p>④資料2 令和6年度学校給食費について</p> <p>⑤参考資料行田市学校給食センター運営委員会規則の改正について</p> <p>不足等はございますでしょうか。</p> <p>2. 委員長あいさつ</p> <p>続いて行田市教育委員会学校教育部長 小池よりご挨拶申し上げます。</p>
小池部長	<p>学校教育部長の小池と申します。</p> <p>本日は学校給食センター運営委員会ということで、学校給食の現状について知っていただき、皆様からご意見をいただければと考えております。皆様ご存知の通り、食材費が物価高騰を受けて値上がりしているという状況がございます。その辺りを踏まえ、現状報告させていただきます、それに対しまして、様々なご意見をいただけたら大変ありがたいと思っております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p>
飯田所長	<p>ありがとうございました。</p> <p>3. 委員自己紹介</p>

委員	<p>続いて今年度最初の委員会となりますので、委員の皆様から自己紹介をいただきたいと存じます。</p> <p>南河原中学校長 増田様から時計回りをお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">委員自己紹介</p>
飯田所長	<p>ありがとうございました。</p> <p>4. 会長及び副会長の選出について</p> <p>続いて委員長、副委員長の選出をさせていただきます。</p> <p>まず、学校給食センター運営委員会規則の改正についてご報告いたします。学校給食センター運営委員会は、委員長に市長、副委員長に教育長を充てていたところですが、規則を改正し今年度から市長、教育長は委員から除き、委員長、副委員長は互選により選出することとなりました。</p> <p>つきましては、委員長、副委員長を委員の皆様のご互選により選出いただきたいところですが、事務局案として委員長を南河原中学校長増田様、副委員長を下忍小学校長 平井様をお願いできればと考えております。事務局案に対し、ご意見等はございますでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし。</p>
飯田所長	<p>では、委員長は南河原中学校校長 増田様、副委員長は下忍小学校平井様とする事務局案で決定とさせていただきます。</p> <p>5. 議事</p> <p>それでは、これより次第の5の議事に移らせていただきます。</p> <p>議事の進行については、当委員会の委員長であります南河原中学校校長 増田様をお願いしたいと存じます。よろしくをお願いいたします。</p>

増田委員長

それでは、議長の職を務めさせていただきます。議事の円滑な進行にご協力ください。議事（１）令和６年度学校給食年間実施計画(案)について事務局に説明を求めます。

飯田所長

ではまず、行田市学校給食センター運営委員会の規則改正について説明させていただいてから、学校給食年間実施計画案について説明いたします。参考資料をご覧ください。

行田市学校給食センター運営委員会は、市の附属機関となっております。附属機関というのは、市長その他の執行機関の長の求めに応じて、必要な調査・審議・審査・調停等を行う機関であります。

学校給食センター運営委員会は市の附属機関でありながら、委員の中に市長と教育長が含まれていたため、今回市長と教育長を除く規則改正をいたしたところ です。改正内容は以上となります。

では次に資料１の学校給食年間実施計画（案）についてご説明いたします。

皆様には１２月に書面表決という形で年間実施計画をお配りさせていただきました。本日お配りした計画内容については、１２月にお配りしたものと変わりはありません。

ただ現状として年間実施計画の１９０回という数字が確定しておりませんので、本日はあくまで案としてこちらを示させていただいているところです。こちらについては、年間回数が決まり次第、皆様にご連絡を差し上げます。

なお、給食の年間実施回数につきましては、今後教育委員会で諮る議案となりますが、皆様に後日ご連絡した回数で諮らせていただきますのでご了承いただければと思います。

よろしく願いいたします。

増田委員長

ただいまの説明に関して、ご質疑等ございましたら、発言をお願いします。

小池部長	<p>補足ですが、資料の「2. 各学期の給食開始日及び終了日」については、現在教育指導課の方で検討を行っております。資料では2学期の開始日が8月29日となっておりますが、開始日が少し遅くなることを予定しております。また3学期については、少し早まる予定でございます。給食回数の総計190回が減る可能性もありますが、こちらは分かり次第、皆様に共有させていただきたいと思っております。以上です。</p>
増田委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>変更というのは給食の期間だけではなく、学期自体の変更ということでもよろしいでしょうか。</p>
小池部長	<p>学期の期間の変更に伴って、給食の回数も変更になるということです。</p>
増田委員長	<p>給食回数ですが、最低何回という決まりはございますか。</p>
飯田所長	<p>調理委託業者とは上限190回で契約しております。</p>
増田委員長	<p>その他何かご質疑等ございますか。よろしいですか。</p> <p>それでは、議事(1)令和6年度学校給食年間実施計画(案)については、事務局説明のとおりでございます。確定後、連絡をいただけるということですので、よろしく申し上げます。</p> <p>次に議事(2)令和6年度学校給食費について、事務局に説明を求めます。</p>
飯田所長	<p>資料2「令和6年度学校給食について」ご説明いたします。</p> <p>本市の学校給食の現状を確認していただき、適正な給食費や食材料費について、皆様のご意見を賜りたいと存じます。</p>

まず1ページ目には、学校給食の経費の根拠を示しております。学校給食の経費については、学校給食法第11条および学校給食法施行令第2条に記述されております。給食施設の施設設備費や人件費、修繕費等の費用は学校の設置者である市が負担することとなっており、それ以外の食材料費については、児童生徒の保護者が負担することとなっております。なお、水道光熱費については市が負担しております。関係法令については、後日ご参照ください。

次に2ページをご覧ください。行田市の学校給食については、学校給食センターが平成7年1月に開設して以降、市内の学校給食をセンターから提供しております。

本市の学校給食費については、消費税率が3%から5%に引き上げられた平成10年度に改定をし、その後18年間給食費は据え置いております。その後、食材料費の価格高騰や消費税率が5%から8%に引き上げられた影響を受け、平成28年度に現在の金額に改定したところです。行田市において、給食費の改定は2回しか行っていないという状況になります。現在は、物価、輸送費、食材価格等が大きく上昇しており、令和元年10月にも消費税が増税された中で、献立や食材を工夫し、食材料費を節減することや、食材料費の一部を公費で負担することによって、平成28年度から現在の給食費を維持している状況です。

次に食材料費に係る公費負担についてご説明いたします。2ページ下段の表をご覧ください。食材料費のうち、保護者の皆様からいただく学校給食費を超える部分については、公費で負担しております。この表の「学校給食費納付金」は、保護者の皆様からお預かりしている給食費です。そして、「食材料費」が食材の購入費です。なお、令和2年度は小・中学校の給食費、令和4年度は中学校の給食費を無償化しており、無償化分は学校給食費納付金に加えて計算しております。令和2年度の公費割合が8.4%と高くなっておりませんが、新型コロナウイルスの影響により4・5月の給食費を徴収せず、9か月分のみ

であったことにより、給食費納付金が低い金額となっておりますので、その分公費割合が高くなっております。いずれの年度も、公費を投入し給食を提供している状況となっております。

3ページをご覧ください。小・中学校の1食当たりの単価です。小学校は給食費が月額4,100円ですので、4,100円に11か月をかけ、給食回数で割った数が1食当たりの単価となります。令和4年は小学校が239.8円、中学校が283.6円となります。実際にかかった食材料費を給食回数で割って算出した実際の給食単価は、令和4年度の小学校が254.6円、中学校が302円となり、小学校の1食当たりの公費負担は20.7円、中学校は18.9円です。

次に近隣市の学校給食費ですが、羽生市は小学校が4,100円、中学校が4,900円。加須市は3,800円、中学校は4,400円。熊谷市は熊谷江南地区がセンター方式で小学校が4,400円、中学校は5,300円。大里地区と妻沼地区については、自校方式なので金額に若干差がございます。鴻巣市は小学校が自校方式で4,500円、中学校がセンター方式で5,200円です。また、皆様のお手元に「県内各市給食費一覧」をお配りしましたが、こちらは5月1日付の各市の給食費のデータとなります。他市の状況をみると小学校が4,000円超、中学校が4,800円前後としているところが多くで、行田市の給食費は平均程度であると言えます。また、今年度9月に行われた学校給食費に関する調査によると、令和4年度に給食費を改定した自治体が2自治体、令和5年度当初に改定が11自治体、年度途中で改定が2自治体となっております。各自治体の改定の主な理由としましては、食材費の物価高騰によるものになります。

4ページご覧ください。こちらは令和4年度と令和5年度の食材価格の推移の表でございます。それぞれ、ご飯・パン・麺・牛乳の価格の推移になります。ご飯は令和4年度が70gあたり46.50円で令和5年度が51.16円、4.66円の増額となります。ご飯は約10%値上がりしている状況です。主食であるパンや麺も値上がりし

ており、約8%値上がりしている状況です。牛乳は令和4年度が49.63、令和5年度は54.15円、4.52円値上がりしており、約9%の値上げという状況になります。主食と牛乳の金額が上がることにより、給食費の中で主食・牛乳代が占める金額が大きくなり、副食代として使える金額が少なくなっております。ただ、副食代についても値上がりしている状況ですので、食材料費が不足する状況が見込まれております。主食や牛乳の値上げに対応するため、副食の献立内容の工夫やコストを削減しつつ、栄養価を保ちながら、安全安心な給食の提供に努めております。ただし、昨今の物価の上昇に伴う食材料費の高騰が続く中、国産品を基本とする食材の調達や地産地消の推進、献立の多様性や質、栄養価を維持しつつ、安全安心な魅力のある給食を提供していくことが困難な状況となっております。

4ページ中段「4. 今後の給食費について」をご覧ください。令和5年度当初予算における学校給食の食材料費に係る予算措置は、消費者物価指数などを参考に、食材料費の上昇率を7.1%と見込んで、積算したところです。また、令和5年12月時点の消費者物価指数によると、現在の物価動向は食料が令和2年と比較しまして、約15%の上昇となっております。

「2020年基準消費者物価指数」の資料をご覧ください。裏面中央が「食料」の欄になります。令和5年度の当初予算要求をした昨年10月時点の物価指数が107.1であり、令和5年度は7.1%を見込んで予算措置しました。そして最新12月の数値が115.2であり、食料の物価指数は15.2ポイント上がっている状況となります。

日本銀行の「経済・物価情勢の展望」をご覧ください。日本銀行は、引き続き消費者物価指数が上昇すると見込んでおり、今後食材料費についても同様の傾向が見受けられると考えられます。また、2024年度の消費者物価指数は、+2.7～+3.1の間で推移すると見込まれております。消費者物価指数は、生鮮食品を除いた数値となって

おりますが、食材も価格高騰が見込まれます。

このような背景を踏まえ、現状の質・量の給食を維持していくために、本市の学校給食費について、次のとおり案を算出しましたので、皆様にご意見を頂戴したいと思います。

まず現在の学校給食費ですが、小学校は日額237円、月額4,100円、年額45,100円、中学校は日額280円、月額4,850円、年額が53,350円となります。こちらは今年度の給食回数191回で計算しております。

5ページをご覧ください。まず令和5年度の食材料費についてですが、食材料費の物価高騰分を給食費に価格転嫁しないことで、保護者の経済的負担を軽減するため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業を活用し、6月補正予算において予算措置したところです。補正予算措置後の食材料費は、小学校が日額276円、月額4,792円、年額52,716円、公費負担が日額39円、月額692円、年額7,616円となります。中学校は日額326円、月額5,661円、年額62,266円、公費負担が日額46円、月額811円、年額8,916円となります。

次に学校給食費の案ですが、10%増額、15%増額、20%増額の場合について示させていただきました。なお、端数は四捨五入しております。

10%増額の場合、小学校は日額260円、月額4,500円、年額49,500円、現行と比較すると日額23円、月額400円、年額4,400円の増額となります。中学校は日額306円、月額5,300円、年額58,300円、現行と比較しますと日額26円、月額450円、年額4,950円の増額となります。

15%増額の場合、小学校は日額271円、月額4,700円、年額51,700円、現行と比較しますと日額34円、月額600円、年額6,600の増額となります。中学校は日額323円、月額5,600円、年額61,600円、現行と比較しますと日額43円、月

	<p>額 7 5 0 円、年額 8 , 2 5 0 円の増額となります。</p> <p>2 0 % 増額した場合、小学校は日額 2 8 3 円、月額 4 , 9 0 0 円、年額 5 3 , 9 0 0 円、現行と比較しますと日額 4 6 円、月額 8 0 0 円、年額 8 , 8 0 0 円の増額となります。中学校は日額 3 3 5 円、月額 5 , 8 0 0 円、年額 6 3 , 8 0 0 円、現行と比較しますと日額 5 5 円、月額 9 5 0 円、年額 1 0 , 4 5 0 円の増額となります。</p> <p>以上が 1 0 %、1 5 %、2 0 % 増加した場合の試算です。学校給食費について皆様のご意見等を賜りたいと存じますのでよろしく願いいたします。</p>
増田委員長	<p>ありがとうございます。ただいまの説明に関して、ご質疑等ございましたら、発言をお願いします。</p> <p>現時点では 1 0 % 増額で実際の給食単価と同程度の金額ということですか。</p>
飯田所長	<p>5 ページの「令和 5 年度の食材料費」は、令和 5 年度の補正予算後の金額から日額を算出したものであり、日額は小学校が 2 7 6 円で中学が 3 2 6 円となります。1 0 % 増額の場合、小学校が日額 2 6 0 円、中学校が 3 0 6 円、1 5 % の場合、小学校が 2 7 1 円、中学校が 3 2 3 円、2 0 % の場合、小学校が 2 8 3 円で、中学校が 3 3 3 5 円ですので、2 0 % ですと実際の給食費より多くもらう形になります。</p>
増田委員長	<p>3 ページの令和 4 年度の実際の単価が小学校 2 6 0 . 6 円、中学校が 3 0 2 . 7 円とあり、1 0 % 増額のコストと同額程度であると思ったのですが。</p>
小池部長	<p>令和 4 年度の実際の単価は、1 0 % 増額と同程度の金額になりますが、令和 5 年度の食材料費は 6 月で補正しており、令和 4 年度と比較してさらに増額となっております。補正後の金額から令和 5 年度の食</p>

<p>飯田所長</p>	<p>材料費を算出した場合、5ページの「令和5年度の食材料費」の金額となります。</p> <p>令和5年度は給食費として納入される予定の金額に7.1%加算した金額で当初の予算措置をしました。その後7.9%程度の不足が見込まれたため、最終的に給食費として納入予定の金額に約15%加算した金額を6月の補正予算で措置しました。その数値が5ページの「令和5年度の食材料費」の金額になります。</p>
<p>平井副委員長</p>	<p>令和5年度は、公費負担をして実際にかかる食材料費の小学校の年額が約52,000円になったということですね。</p>
<p>飯田所長</p>	<p>おっしゃる通りです。</p>
<p>平井副委員長</p>	<p>公費を使わなくて済むようにするには20%増額しかないと思います。</p>
<p>飯田所長</p>	<p>実際にかかる食材料費を全て給食費で賄うとなると、20%増額しなければ不足することが見込まれますが、20%増額となると、小学校で年額1万円近くの増額となるので、保護者の理解が得られるのかという部分もあります。そのあたりは慎重に進めたいと考えています。</p>
<p>平井副委員長</p>	<p>次の15%増額にしても、年額6,600円の増額となります。ただ、食材を作ってもらっしやる方、働いてもらっしやる方のことを考えれば、折り合いをつけなくてはいけないと思います。</p>
<p>飯田所長</p>	<p>給食費は食材の購入のみでそれ以外には使っていません。その他の調理器具等は、全て市費で負担しております。そこを保護者の方にご</p>

	<p>理解いただければと思いますが、センターとしてその点について周知ができていなかったと思います。今後改めて周知していこうと思っています。</p>
小池部長	<p>細かくいえば、油や調味料も含めて食材料費であり、その部分相当は実費負担していただければありがたいと思います。ただし、そこは他市との均衡もありますし、保護者の方のご理解をいただかなければ、給食費はあげられませんので、今日はまず皆様に、仮に給食費を上げる場合、現状からみてどの程度の金額が相当なのかということについてご意見をいただきたいと思います。</p>
大貫委員	<p>近隣の学校給食費について説明がありましたが、こちらは令和5年度の金額ですか。</p>
飯田所長	<p>令和5年度のもので。</p>
大貫委員	<p>給食費が上がった市があるのご説明がありましたが、羽生市と加須市は金額を改定したのですか。</p>
飯田所長	<p>羽生市と加須市は改定していません。</p>
小池部長	<p>加須市は他市と比べて給食費が低いですね。</p>
大貫委員	<p>そうですね。近隣市がこれだけ低い給食費である中で行田市がこれだけ逼迫しているのはなぜなのか考えてみた時に、例えば加須市はお米を多く作っている等、地域によって原材料の違いがあることが要因なのかなと思いました。センターでここまで差が出るのかと驚いている部分もあります。</p>

<p>小池部長</p>	<p>それは市の考え方にもよると思います。現在新型コロナウイルスに関係した交付金があり、他市では保護者の負担軽減のために、交付金を活用して食材料費物価高騰分に充てているところも多いです。</p> <p>また物価高騰に対する補助金が国から割り振られますが、行田市は水道料金を2か月無料とするために補助金を投入しています。恐らく加須市は食材料費の物価高騰分に交付金や補助金を投入して給食費を抑えているのではないかと思います。</p>
<p>大貫委員</p>	<p>食材料費が上がっていることの要因として、今年度行われた特別給食も要因のひとつではないかと思います。</p>
<p>飯田所長</p>	<p>特別給食は通常の給食より単価が高かったですが、全部で8回でしたので、それほど支出に影響はなかったと認識しています。</p>
<p>小池部長</p>	<p>特別給食の評判はいかがでしたか。</p>
<p>大貫委員</p>	<p>普段と違うものが出て特別感があったので子どもたちは喜んでいて評判は良かったです。ただ、職員としては3学期の温かい給食が本当にありがたいと思っています。</p>
<p>飯田所長</p>	<p>特別給食期間中にフライヤーやスチームコンベクションオーブンを入れ替えましたので、1月から給食の味も少し良くなったのではないかなと思います。</p>
<p>増田委員長</p>	<p>その他、何かご意見はございますか。</p> <p>保護者の立場としては、当然給食費は低い方がいいというのが本音だと思います。ただ、給食費だけでは食材料費を賄えず、今これだけ不足していて、公費を投入していただいているというのが現状です。</p> <p>先程もあったように保護者の間で給食費が食材料費のみに使われて</p>

	<p>いることが浸透していない部分もあると思います。保護者の方の中には、人件費や修繕費も含めての給食費と理解されている方もいらっしゃるのではないかと思います。人件費や修繕費も当然上がっているかと思いますが、公費負担額は今後も増えていくと思います。</p> <p>いつから給食費を上げるのかということについては、保護者の方に理解していただく必要がある以上、難しいところがあると思います。一方で給食費だけでは食材料費が賄い切れず、公費を投入している現状があります。試算の結果、食材料費を全て給食費で賄うためには、20%の増額が必要ですが、20%増額というのはかなりハードルが高いのではないかと個人的に思います。</p>
小池部長	<p>20%増額ですと、実際にかかる食材料費より給食費を貰いすぎてしまうことになり、それは好ましくないと思います。貰いすぎた分を返金することはできないため、多少公費負担が生じる程度がちょうどいいのではないかと思います。</p>
飯田所長	<p>増減はありますが、食材料費は毎年公費負担をしています。給食費を貰いすぎているということは、センター開設以来ございませんので、必ず一部は公費で負担して食材料費を購入しております。</p>
増田委員長	<p>立場の違いから様々なご意見が出ましたが、教育委員会は食材料費を公費で負担して、できるだけ保護者の負担を抑えたいという立場かもしれないし、市の立場としてはできるだけ公費を抑えたいというところもあると思います。本日はここで結論をとということではなく、現状とそれに対するご意見をという主旨ですので、他のご質疑・ご意見等あればお願いします。</p>
大澤委員	<p>給食費は学校で集金していて未納者もいるとは思いますが、そのあたりについて教えていただけますでしょうか。</p>

増田委員長	<p>中学校は給食費が無償化されており給食費の集金はございませんが、本校では無償化以前の給食も含めて未納者はおりません。1回目で引き落としができない場合も、お手紙を出せば2回目には落とせるようになるので、大変ありがたいと思います。</p>
平井副委員長	<p>下忍小学校も未納者はおりません。</p>
大貫委員	<p>長野中学校は未納者が多くいます。今年度は給食費無償化のため徴収の必要はありませんが、外国籍の生徒の保護者であると日本語が通じず、また家庭的な理由で口座が作れない場合や連絡が取れない家庭も地区ごとにいるため、徴収が難しいです。今年度は給食費無償化で大変助かっていますが、昨年度は会計が締まらない状態で翌年度を迎えてしまい、学校で持っている教材費で調整しました。来年度給食費無償化をせず、中学校も給食費を徴収することになると、学校としては全家庭から徴収というのは難しい現状がございます。</p>
中島委員	<p>泉小学校はずっと未納の状態という方はおりません。ただ、前任校では前年分も給食費を納めておらず、管理職が連絡をしてもお支払いいただけないという方はいました。</p>
大澤委員	<p>安価で美味しく温かい給食をいただけて、子どもたちとしてはありがたいことだと思います。一方で一部給食費が未納状態の方もいるということが分かりました。</p> <p>物価が上がっている今の時期は、給食について見直す良い機会であると考えられることも大切なのではないかと思います。</p>
小池部長	<p>過去の給食費改定の経緯を見ると、消費税増税のタイミングで改定していますからね。</p>

大澤委員	食材費が上がっているのは実感しますね。
坂本委員	<p>保護者の立場として思ったことは、物価高騰というのは保護者の方も知っている事実であると思いますし、自分自身も物価が上がっているというのを実感しています。では、どれだけ給食費を上げるのかというのが問題となってくると思いますが、給食費を上げざるを得ない状況であるということと、食材費にかかる部分が高騰しているために給食費を上げざるを得ないという現状を、まず保護者の方に知っていただくことが重要なのかなと思いました。</p> <p>上げ幅は近隣市と大差のない年額に収まっていること、また給食費が上がる理由を周知することで保護者の皆様にも了承していただけるのかなと思います。</p> <p>また、個人的には上げ幅は15%がいいのかなと思います。15%であれば一部公費で負担していただける金額で、20%ですと貰いすぎた給食費を還付する事務作業が増えてしまうというところもあるので、個人的には15%の増が妥当ではないかと感じました。やはり周知が重要なのかなと思います。</p>
小池部長	ありがとうございます。給食の現状についての周知を今後工夫していく必要があると思います。どのように作られているというのも保護者の方は知らないと思いますので。
大澤委員	センターの方で各学校に行って保護者に給食費や計画について説明はしているのでしょうか。
飯田所長	現在は行っておりません。早急にできるのはホームページや献立表での周知は可能かと思います。学校での保護者向けの説明会は、学校関係部局との調整もあるため、すぐには難しいと考えます。

大澤委員	<p>ホームページや献立表はどれぐらいの方が見ているのでしょうか。給食費は保護者の関心も高いと思うため、学期のPTAなどでセンターから直接説明できたらいいのではないかと思います。献立表やひまわりだより等のお知らせは忙しい保護者は見ないと思います。どのように給食を作っているのか、保護者に直接伝えられたら良いと思います。</p>
小池部長	<p>周知の方法については、検討してまいります。</p>
増田委員長	<p>子どもは社会科見学がありますが、保護者の方は機会を作るのが難しいと思います。PTAで給食の試食会を行っていますが、その場に来て現状についてお話するというのもなかなか難しいかと思いました。いきなり給食費を上げますということではなく、現状を知って理解していただく機会を作っていたければと思います。</p>
小池部長	<p>まずそこを理解していただくのが大切だと思います。</p>
増田委員長	<p>先程坂本委員の方から給食費を上げるとした場合15%程度が妥当ではないかっていうお話がありましたが、他の委員の皆様も15%が妥当という意見でよろしいでしょうか。</p>
小池部長	<p>これをもってあげるということではなく、現状から考えて15%程度が相当と統一した見解を持てればありがたい。20%では上げすぎかと思いますが。</p>
委員	<p>異議なし。</p>
増田委員長	<p>では、学校給食費の15%値上げが必要であるということで統一させていただきます。</p>

小池部長	実際に給食費を上げる際には、さらに慎重に協議する必要があると思います。
平井副委員長	特別給食の時も、現状を知らないと単価が通常より高いと思わないですね。P T Aの方と話している時にも特別給食の方が単価は安いとされている方がいたので、特別給食の方が高いと説明したことがありました。言わないと知らないということがありますので、やはり現状について、紙文書等があれば説明しやすいですし、共有しやすいと思いました。
小池部長	特別給食は不評ではなかったですか。
平井副委員長	好評でした。おにぎりとパンと種類がいろいろあり、期間も決まっていたため、子どもたちは喜んで食べていましたし、普段では出ないものが出るのでそれが嬉しかったようでした。
飯田所長	学校によっては量が少なかったというお話を聞きましたが。
中島委員	高学年だと足りなかったようで、余った分を連絡して取りに行ってもらってということはしていました。
平井副委員長	6年生は他からもらって食べるということはあったようです。
飯田所長	中学校ではパンが足りなかったというのもお話もあり、特別給食を行うのも難しいというのが実感です。
小池部長	特別給食の検討も1年前の今頃に検討し始め、弁当という話もありましたが、弁当を持ってこられないお子さんもいるということがありましたので、特別給食という形になりました。

大澤委員	紙面でメニューを見せていただいた時に、たんぱく質は大丈夫かなという心配がありました。
飯田所長	エネルギーの方は十分対応しました。
小池部長	実際は足りないというような苦情の電話も一部ありました。
増田委員長	<p>その他ございますか。よろしいでしょうか。</p> <p>現状を知っていただき、タイミングは分かりませんが給食費を上げざるを得ない状況があるということをご理解いただけたと思います。</p> <p>それでは、議事（２）令和６年度学校給食費については、事務局説明のとおりでございます。</p> <p>以上で、本日の議題を全て終了しました。議事の円滑な進行にご協力いただき、ありがとうございました。</p> <p>これにて、議長の職を解かせていただきます。</p>
飯田所長	<p>ありがとうございました。</p> <p>また、委員の皆様におかれましては、貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。</p>